

栃木県後期高齢者医療広域連合行政手続条例施行規則

平成19年2月1日
規則第10号

(趣旨)

第1条 この規則は、栃木県後期高齢者医療広域連合行政手続条例（平成19年栃木県後期高齢者医療広域連合条例第8号。以下「条例」という。）第37条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(不利益処分をしようとする場合の手続を要しない処分)

第2条 条例第13条第2項第5号の規則で定める処分は、次に掲げる処分とする。

- (1) 条例等の規定により、行政庁が交付する書類であって交付を受けた者の資格又は地位を証明するもの（以下この号において「証明書類」という。）について、条例等の規定に従い、既に交付した証明書類の記載事項の訂正（追加を含む。以下この号において同じ。）をするためにその提出を命ずる処分及び訂正に代えて新たな証明書類の交付をする場合に既に交付した証明書類の返納を命ずる処分
- (2) 届出をする場合に提出することが義務付けられている書類について、条例等の規定に従い、当該書類が条例等に定められた要件に適合することとなるようにその訂正を命ずる処分

(職員以外で聴聞を主宰することができる者)

第3条 条例第19条第1項の規則で定める者は、聴聞に係る不利益処分が条例等に基づき審議会その他の合議制の機関の答申を受け行うこととされている場合における当該合議制の機関の構成員とする。

(その他)

第4条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成19年2月1日から施行する。